

人文研紀要

第86号～第88号(2017年)

◆第86号—2017年(2017年9月発行 A5版284頁)

近世初期におけるもっとも古いスペイン通史について(その1) —チュルケ・ド・マイエルヌの『スペイン総史』—	高橋 薫
ルネサンスと上海 —徐光啓から徐家匯へ—	宮川 慎也
アメリカ日系移民二世の教育 —『米國加州教育局検定 日本語讀本』から見えてくること—	村上 和賀子
20世紀を生きたユダヤ系ドイツ人芸人ヴァレスカ・ゲルトの生涯	飯塚 公夫
私たちを助けてくれたベルリンっ子たち —ユダヤ人を救った人々(10)—	平山 令二
言語政策と評価に関する一考察 —中華人民共和国の「都市における言語・文字に関する事業の評価」制度を事例として—	小田 格
台湾ニューシネマにおける日本の表象	曾 文莉
伝統文化における「風流」の美 —魏晉南北朝時代と室町桃山時代を中心に—	彭 浩
本質と自己 —自然の存在学のために: 井筒俊彦における〈マーヤー〉—	小嶋 洋介
Robert Musil in Zürich	Nanao HAYASAKA

◆第87号—2017年(2017年9月発行 A5版301頁)

ジャン＝ジャック・ルソーの父イザック・ルソー —新資料による父親像の検討—	井関 麻帆
ルソーにおける所有権の政治化について	落合 隆
『ルクレティアの死』と『エフライムのレヴィ人』	前之園 春奈
『日の名残り』における語りの技法 —カズオ・イシグロ小論(1)—	安藤 和弘
気象から見る『嵐が丘』	川崎 明子
ミス・ボルドローとは何者か —「アspan文書」と、想い・描かれ・訪れ得る過去—	畑江 里美
『心の死』さまよえる少女ポーシャの地獄めぐり —ヒロインの「場所の移動」を中心に考える—	甘濃 夏実
置き去りにされた子どもたち —ジェーン・エアの末裔—	前 協子
ヴァルター・ベンヤミンとアナーキズム —暴力批判論と1920/1921年頃の断章群をめぐって—	岩本 剛
神奈川県綾瀬市内出土試料の炭素14年代測定研究 —縄紋時代後期前～中葉の実年代を中心に—	小林 謙一
食物分配に着目した社会的知性仮説の再検討	花塚 優貴

◆第88号—2017年(2017年9月発行 A5版336頁)

「同性愛者の隣人」との関係性 —桐野夏生『天使に見捨てられた夜』—	黒岩 裕市
「文明／未開」と「原典／翻案」 —坪内逍遙の宇田川文海評価と日本のシェイクスピア受容—	近藤 弘幸
日本による南シナ海諸島・礁の領有	齋藤 道彦
『山海経』に見る帝俊説話 —黄帝説話との比較を中心に—	尹 青青
年中行事という範疇はいかにして成立したか —喪葬儀礼の変容と穢れ観念の成熟の影響—	尾留川 方孝
ヴァルター・ベンヤミンの名前論 —ユダヤ的固有名論〔三〕—	村岡 晋一
馬昂と陳汝言 —明代天順期の二人の兵部尚書をめぐって—	川越 泰博
明代遼東武官の罪と罰 —明初から宣徳年間までを中心に—	荷見 守義
隋末唐初における李義方とその一族 —墓誌銘の分析を中心に—	前島 佳孝
イタリア時代のポッケリーニ	須磨 一彦
パウル・ツェラン(四)	北 彰